

特集…鉄道旅客サービスの進化

「京阪電車」「プレミアムカー」と叡山電車「ひえい」

仏教の聖地・比叡山
からみる観光

806年に伝教大師最澄によって開かれた天台宗。

その総本山である比叡山延暦寺は、日本仏教の聖地である。

世界文化遺産でもある比叡山延暦寺は、

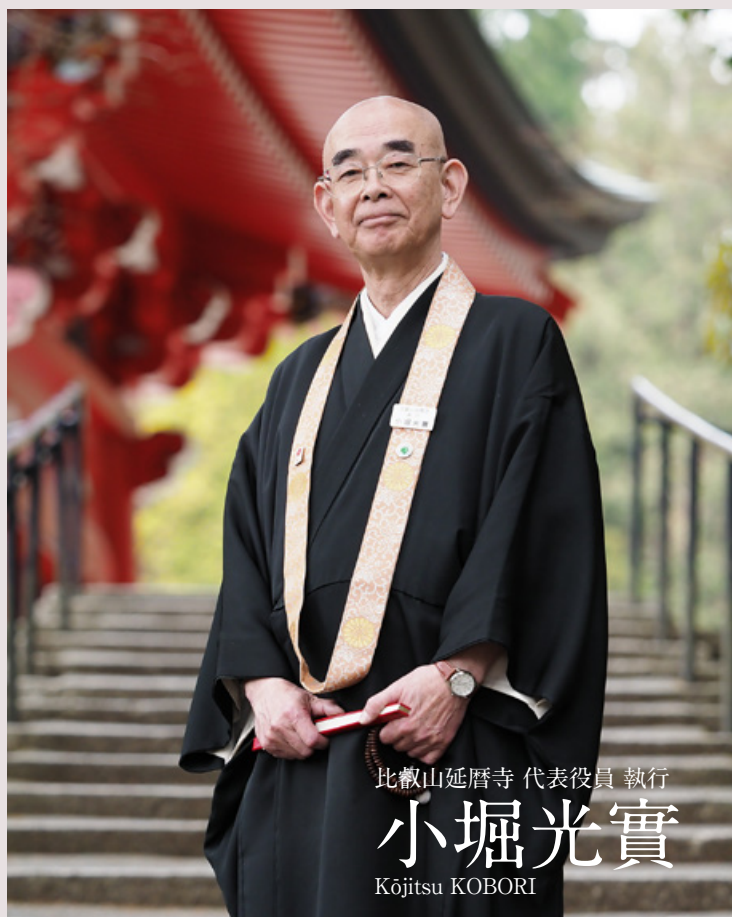
その文化を国内外に伝える活動を活発に行っている。

京阪グループも大きく関わる観光振興について、

小堀光實執行にお話を伺った。

文◎茶木

環／撮影◎織本知之



比叡山延暦寺 代表役員 執行

小堀光實

Kôjitsu KOBORI

2019年の言葉「照統永劫」

——比叡山延暦寺では、年初に「比叡山から発信する言葉」をお披露目されています。2019年の「照統永劫」にはどのような思いが込められているのでしょうか。

小堀 最澄様の1200年大遠忌を2年後に控え、その精神を未来に伝えようという思いと、また御代替わりは承知していただきましたので、それにふさわしくという思いがありました。

最澄様は19歳で比叡山に入られ、平安の時代に、「奈良時代の仏教を尊重しつつも」これからの時代にふさわしい仏教を開きたいという誓いをたて、山にこもられました。そして後の世までも皆の心の支えになるようにとの思いで仏法の灯をともしられたのです。

最澄様の教えの中に、代表的なもの大きく三つあります。一つは「人のために、国のために、一隅を照らす」。どんなところにあっても、自分の持つ力を精一杯発揮していく。そこになくしてはならない人や力になることです。二つ目は「己を忘れて他を利する」。自分のことはあとにして、まず他の人の心を寄せる。三つ目は「能く行い、能く言う」。まず行動を起こした後に意見を言いなさい、とのことでした。

天台宗では「一隅を照らす運動」という社会啓発活動を行っており、今年で50周年を迎えますが、今年の言葉の「照統永劫」にも、一隅を照らすと

ともに、御代替わりということと「天照」、大和の国の一番初めという意味を込めています。

そして、時代が変わっても比叡山の思いは変わらずに、照らし続け、守り伝えていくという思いが込められています。皆の心を明るく照らし続け、また皆で互いに感謝し合い、心と同じくして次の時代へと向かいたいという願いを込めています。

観光を進化させる比叡山振興会議

——1200年という歴史を持つ比叡山延暦寺は日本仏教を代表する聖地と捉えられています。

小堀 比叡山延暦寺は世界の平和や平安を祈る寺院として、さらには国宝的人材育成の学問と修行の道場として、日本仏教各宗各派の祖師高僧を輩出し、日本仏教の母山と仰がれています。私にも世界に誇る御山だという自負があります。

百人一首で有名な慈円は、「世の中に山てふ山は多かれど、山とは比叡の御山をぞいふ」と詠んでいます。これは、高い山、有名な山、風光明媚な山は世の中に多くあっても、山というのは仏教の母山である比叡山だということですね。

近年は、比叡山から世界に向けての発信もしており、HPでは天台宗や最澄様の教えを、「比叡山から発信する言葉」は英語で説明しています。

また、去年の大晦日からは、越年の

特集：鉄道旅客サービスの進化

【京阪電車「プレミアムカー」と 叡山電車「ひえい」】

様子を You Tube やニコニコ動画を通じてライブでお伝えするなど、比叡山の活動や魅力を世界の人々に周知する取り組みも行っています。

—— 仏教から広がる文化、歴史の比叡山を国内外へと発信する組織が「比叡山振興会議」ですね。

小堀 ええ、「比叡山振興会議」は半世紀前に発足して以降、比叡山の魅力を広く伝えるために活動しています。京阪グループにも入っていたいています。実は、年初に発信する言葉の取り組みも、元京阪電気鉄道（現・京阪ホールディングス）社長で大阪商工会議所会頭を務めた佐藤茂雄さんからご提案いただきました。清水寺から発表される1年を締めくくる漢字は皆さんよくご



国宝の根本中堂は現在、大改修が行われているが改修の様子を見学できる



重要文化財の大講堂

存知ですが、延暦寺からは年初に、新しい年に合致する言葉を考えて発信してはどうかと言っていたいたのです。

振興会議はそうしたお知恵やアドバイスをいただく場でもあります。お寺はそういうのがあまり上手じゃないんですよ。比叡山の観光面をしっかりと支え、盛り上げていただくのが振興会議で、大変ありがたいと思っています。

「プレミアムカー」と「ひえい」について

—— 京阪グループの京阪電車では座席指定特別車両「プレミアムカー」を、また叡山電車では観光列車「ひえい」を運行しています。観光という視点から、この二つをどのようにご覧になり

ますか。

小堀 やはり旅の時には、憩いの時間と言いますか、気持ちに余裕を持って過ごしていただきたいと思っていますよね。プレミアムカーは車両も素晴らしいですし、何より旅の魅力を提供してくれそうです。有料かどうかというお金では測れない、精神的なサービスのプレミアムという意味合いも込められていると思っています。

また、叡山電車のひえいは、起点から終点までわずか15分というローカルな線にもこんなに格好いい車両があるのだと、地元の活力を発信できたと思います。車両の楕円は比叡山の神聖さや神秘さを表し、ロゴマークの放射線は比叡山から光が放たれていることを示されている。また、車両の深い緑色は精神的にとっても落ち着く色であり、神社やお寺が緑に囲まれていることともつながります。ひえいの車両はまさに比叡山に行くための足を表すデザインだと思っています。

比叡山参詣の足を担う京阪グループ

—— そのほか京阪グループの各社は参詣や観光の方々が比叡山に登る足を担っています。

小堀 比叡山延暦寺の寺領は周囲100 kmで、面積は1677 haです。そのうちの1466 haは滋賀県です。残りの211 haが京都府にあり、延暦寺という京都というイメージを持つ方が

多くいらっしゃいますが、比叡山延暦寺の本籍は滋賀県大津市坂本です。

比叡山の東、大津市側からは比叡山鉄道が運営する坂本ケーブルを利用します。日本最長のケーブルで、びわ湖の眺めが素晴らしい。西側の京都からは、京福電気鉄道が運営する叡山ケーブルと叡山ロープウェイを乗り継ぎます。また、起点の大津市から比叡山山頂までは、有料道路の比叡山ドライブウェイが1958年に開通しています。東西のケーブルカーや南側のドライブウェイなど、滋賀・京都の両側から京阪グループにつないでいただいています。—— つなぐということは輸送だけではなく、もっと大きな意味合いを持つのではないのでしょうか。

小堀 ええ。比叡山は御山の内部だけで文化や歴史を守るのではなく、地元の方々にも共にしっかりと守っていただき、発信したいと考えています。

京阪グループの各企業が参画して輸送ルートを確保してくださることは、文化を発信するルートをつくってくださっているものだと思います。今後は、例えばケーブルカーは約10分間とわずかな時間ではありますが、乗り物としての魅力も大きいので、比叡山延暦寺が持つ魅力と何かタイアップできるような取り組みをしていただければと思います。いずれにしても、さまざまなアイデアや取り組みによって支えていただいていることが延暦寺の強みなのです。

※1 1927年開業。ケーブル坂本駅－ケーブル延暦寺駅間、日本一の路線距離2015mを11分で上る。
※2 1925年開業。ケーブル八瀬駅－ケーブル比叡駅間、路線距離1300m、日本一の高低差561mを9分で上る。
※3 1928年開業。ロープ比叡駅－比叡山頂駅。全長486m、乗車時間は3分。